

【プラスチックリサイクル化学研究会】20150610 講演会

講演題目「太陽光パネルガラスと自動車ガラスにおける最先端リサイクル技術と展望」

講演：ガラス再資源化協議会 GRCJ 代表幹事 加藤 聡

講演要旨

この講演ではガラス再資源化技術開発に至る環境政策の経緯、各種リサイクル法制定に準じたガラス再資源化技術開発の歴史を踏まえ 直近の自動車リサイクル法審議会 2015 年における自動車リサイクル制度見直しの動きに合わせたリサイクルの高度化にむけた自動車ガラスの最先端リサイクル技術研究と使用済み太陽光パネルリサイクル研究開発の産官学による研究成果を紹介する。

講演概要

環境政策におけるリサイクル法の先駆けとして容器包装リサイクル法（1997 制定）の審議が開始され並行してボトラー等のガラスびん利用事業者、並びに収集、再資源化、再商品化事業者によるガラスびん他用途開発を目的としたクリスタルクレイ社が1993年に設立されガラス再資源化セラミックの実用化にむけて研究技術開発がスタートした。

グリーン購入法（2000 制定）に先立ち廃棄ガラス再資源化に関する行政との連携、大学研究機関、産業界との環境配慮型技術の研究開発、他用途市場の拡大を目指してガラス再資源化協議会 GRCJ が 1999 年に設立された。

容器法（1997）対象ガラスびん・GMB、家電リサイクル法（2001）CRT ガラス・GME、建築リサイクル法（2002）建築板ガラス・GMA、自動車リサイクル法（2005）ELV ガラス・GMV、小型家電リサイクル法（2013）液晶ガラス・GML などの各産業分野別廃棄ガラスの体系的な GM 研究開発を NEDO と実施。2013 年～2015 年環境省より「環境研究総合推進費補助金 次世代事業・廃液晶ガラス・廃自動車ガラス等の高度再資源化システムに関する研究」を受諾。Glass Recycling Advanced Technology・GReAT プロジェクトとして GRCJ メンバー12 社による環境省初サプライチェーン研究開発を実施その研究開発概要を紹介する。

あわせて環境省・METI 共管の「2014 年度使用済み再生可能エネルギー設備のリユース・リサイクル・適性処分に関する検討会」の中でのモデル事業 GReAT2・太陽光電池モジュールの各種 PV 種類に応じた太陽光パネルガラス・GMPV リサイクル技術の概要についても最新の動向を紹介する。